

蘭書～武雄洋学のはじまり～

Episode 06

明治維新150周年 近代科学の先進地、武雄

武雄領主の鍋島茂義は、一八三〇年ごろから二十年以上にわたって、洋学の研究のために、長崎で多くの洋書を購入しています。これらは「武雄蘭書」と呼ばれ、百三十八冊が現存しています。その内容は、語学・理工学・医学・軍事学・伝記・旅行記・雑誌・百科辞典など多岐にわたります。

武雄の長崎における取引の記録である「長崎方控」によると、武雄鍋島家ではオランダ語原書の内容を理解し、目利きをした上で、蘭書を購入しています。蘭書の収集は、明確な意図をもって行われていたようです。

例えば、フランスで、新式の大砲ボンベカノン砲の試射実験が行われたという情報が入ると、茂義はすぐに報告書を手し、他の蘭書の翻訳を中止させてまで、報告書の全訳を命じています。茂義はさらに研究を進め、大砲の図面を藩主鍋島直正に献上したり、長崎のオランダ人に大砲に関する質問状を送ったりしています。武雄には、ボンベン野戦砲と呼ばれる同じ型の大砲が現存しており、武雄の蘭書が活用されたことを示す一例であると言えます。



▲国重要文化財「ボンベン野戦砲」
(武雄鍋島家資料 武雄市)



▲国重要文化財
ペキサンス著
『フランス海軍によるボンベカノン試射実験』
(武雄鍋島家資料 武雄市)



▲国重要文化財「武雄蘭書」
(武雄鍋島家資料 武雄市)

※蘭書とは、オランダを通じて入ってきたヨーロッパの書物を指します。

有料広告

ケーブルプラスでんき

“でんき”も“ケーブルワン”にまとめておトク！！

家計をお助け!

1% DOWN	3% DOWN	5% DOWN
1ヶ月あたりの電気料金 5000円未満	1ヶ月あたりの電気料金 5000円以上 8000円未満	1ヶ月あたりの電気料金 8000円以上

でんきセット割 毎月の電気代に応じてケーブルワンの利用料を割引!

詳しくは

CableOne

株式会社 ケーブルワン

0120-80-7511

http://www.cableone.ne.jp
ケーブルワン 検索